

第59期 環境活動レポート2016 (活動期間:2015年10月1日~2016年9月30日)

山陽製紙株式会社



紙でエコする会社です。

発行: 2017年8月11日
更新: 2017年8月27日



第59期 環境活動レポート

山陽製紙株式会社

— 目次 —

P1・・・ご挨拶

P2・・・環境方針

P3・・・会社概要

登録事業所の概要

P5・・・主な環境負荷の実績

P7・・・環境目標及びその実績(全社)

P8～P10・・・環境活動の取組み計画と評価

(工場・本社事務所・東京営業所)

P11・・・環境関連法規制等の順守状況

P12・・・総括～代表者による全体評価と見直しの結果～

P13～P21・・・環境活動の紹介

P22～P24・・・クレープ紙・循環型製品の紹介

P25・・・環境トピックの紹介



ご挨拶

～「紙創り」を通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献すること～
を基本理念として、日々精進しております。

どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、その為に自然を守る活動や地球環境負荷低減活動に全社員で積極的に取り組む会社でありたいと思います。

エコアクション21の活動を通して、より一層の理念の浸透を目指します。

山陽製紙株式会社 代表取締役 原田 六次郎

経営理念

『私たちは紙創りを通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献します』

- ・ 私たちは希少価値のある紙をお客様と共に創ります
- ・ 私たちはお客様と共に成長発展することを喜びとします
- ・ 私たちは資源として使った地球の財産を守り、再生し 循環型社会に貢献します

人事理念

- ① 人を大切に ② 自然を大切に ③ 物を大切に ④ 時間を大切に ⑤ 感謝の心を大切に

環境方針

山陽製紙は地球を守ることが全人類の最重要課題の一つであることを認識し、
どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、
環境問題に全社員で積極的に取り組みます

〈環境保全への行動指針〉

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 循環資源を活かし環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑤ グリーン購入を推進し、環境に配慮した資材の購入に努める
- ⑥ 化学物質について適正管理を行います

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取組みを環境レポートとして、とりまとめ公表します。

制定日：2007年11月13日

改訂日：2014年10月01日

山陽製紙株式会社

代表取締役

原田六次郎



会社概要

- ・ 本社工場：大阪府泉南市男里6-4-25
- ・ 業種：クレープ紙製造・販売
(紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス)
- ・ 社員数：47名(2017年8月現在)
- ・ 創業：昭和 3年(1928年) 3月広島にて
～初代原田楽一による(株)原田大誠堂～
- ・ 設立：昭和32年(1957年)12月
～ 創立60年目 ～
- ・ 関連業界：製袋, 鉄鋼, 電線, 電子部品,
花・ラッピングの各業界, 循環型先進企業
- ・ 認証取得：ISO9001(2001年)
- ・ 認証取得：エコアクション21(2008年)



山陽製紙株式会社 代表取締役
原田 六次郎



◇ 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

山陽製紙株式会社 HP(ホームページURL): <http://www.sanyo-paper.co.jp>
 代表取締役 原田 六次郎

(2) 所在地

本社及び工場 〒590-0526 大阪府泉南市男里6-4-25
 電話:072-482-7201(代) FAX:072-482-7204

東京営業所 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-10 大蔵ビル6階3号室
 電話:03-5777-7422 FAX:03-5777-7423

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

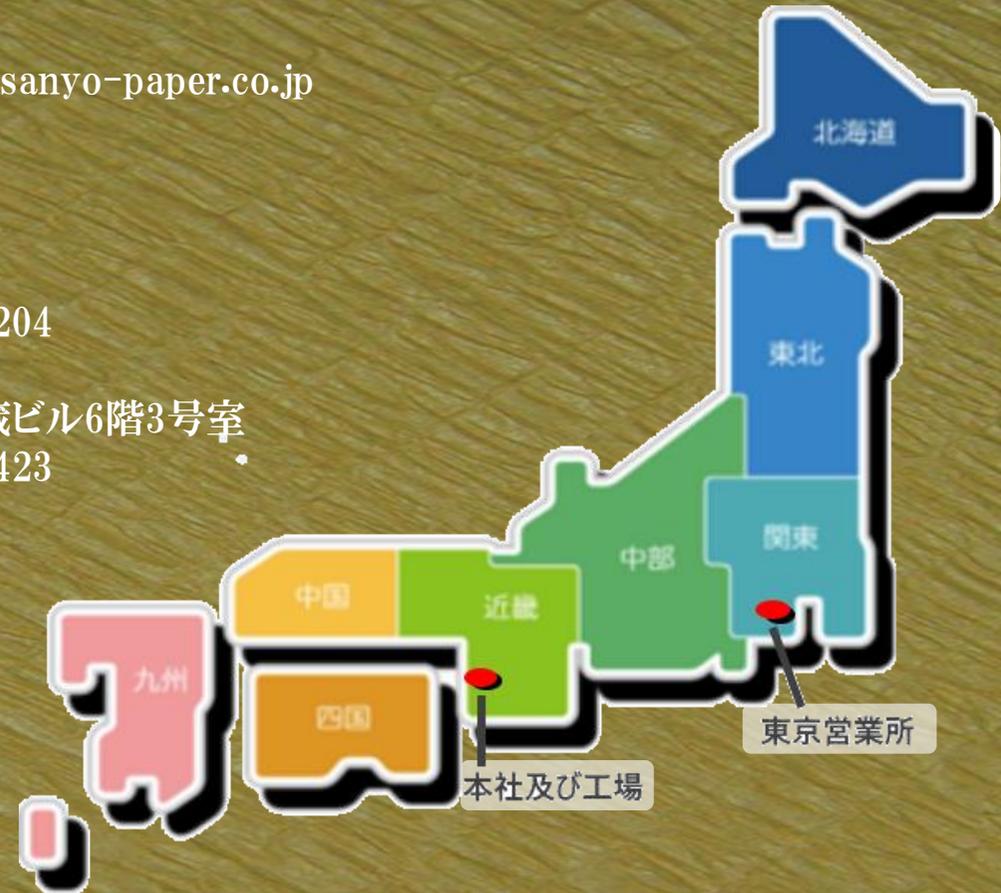
責任者: 生産部門長 中野 晴夫
 事務局: 研究開発室 係長 橋本 正樹
 電話:072-482-7201

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス

(5) 事業の規模

製品売上高 10億1248万円
 主要製品生産量 3586トン/年
 従業員数 47名



	本社	工場	東京
従業員数	12名	34名	1名
敷地面積	約377㎡	約9,300㎡	—

(6) 事業年度 第59期 (2015年度: 2015年10月1日 ~ 2016年9月30日)

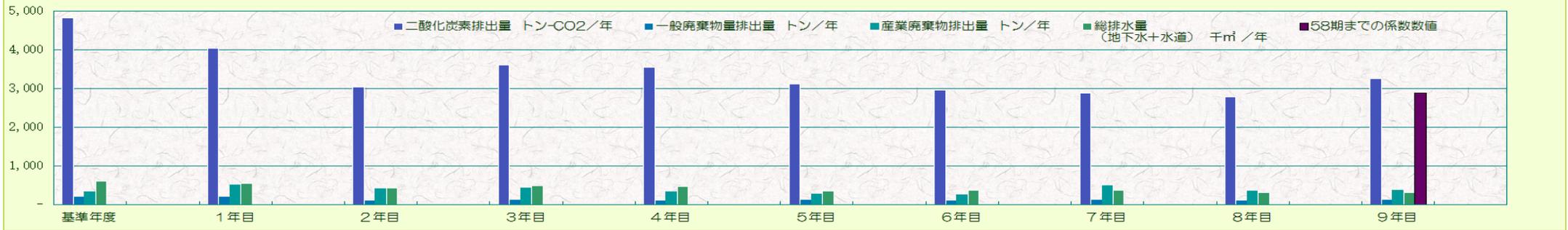
◇ 主な環境負荷の実績

※「1t-CO₂」で、25mプール(平均)約1杯分の体積

◇主な環境負荷の実績

項目	単位	第50期(2006年) 基準年度	第51期(2007年) 1年目	第52期(2008年) 2年目	第53期(2009年) 3年目	第54期(2010年) 4年目	第55期(2011年) 5年目	第56期(2012年) 6年目	第57期(2013年) 7年目	第58期(2014年) 8年目	第59期(2015年) 9年目
二酸化炭素排出量	トン-CO ₂ /年	4,829	4,056	3,055	3,610	3,566	3,121	2,966	2,895	2,785	3,262
(58期までの係数 数値) : CO ₂	トン-CO ₂ /年										2,889
一般廃棄物量排出量	トン/年	231	216	123	143	134	136	134	136	133	140
産業廃棄物排出量	トン/年	333	518	427	445	346	277	264	506	360	383
総排水量 (地下水+水道)	千m ³ /年	617	555	438	493	484	364	381	383	317	316

2006-2014環境負荷数量



※最新データから電気使用による二酸化炭素排出量の係数が変更の為、数値が上がっています。(0.378→0.531)

各部署での取組み(2015年度)

CO₂ 排出削減

- ・電力の削減
(生産高あたり使用量の削減)
- ・ボイラ燃料削減
- ・リフト燃料削減

工場

- ・電力の削減
- ・自動車燃料削減

事務所

- ・電力の削減
(データ収集中)

東京営業所

水資源の 節水

- ・放流水の削減
(生産高あたり使用量の削減)
- ・水道水の削減

工場

- ・水道水の削減

事務所

- ・水道水の削減
(データ収集中)

東京営業所

廃棄物 削減

- ・一般廃棄物削減
- ・産業廃棄物削減

工場

- ・一般廃棄物削減

事務所

- ・一般廃棄物削減
(データ収集中)

東京営業所

グリーン 関係

- ・グリーン調達
- ・工場立地法対策
- ・飲料水缶分別

工場

- ・環境に配慮した製品の販売促進
- ・グリーン購入

事務所

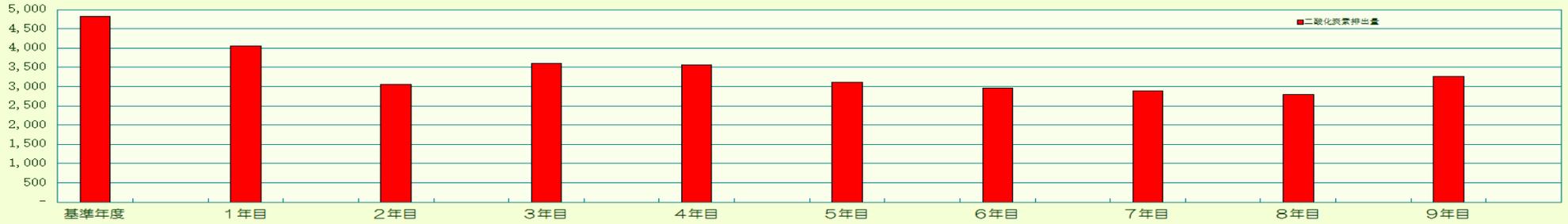
- ・環境に配慮した製品の販売促進
- ・グリーン購入

東京営業所

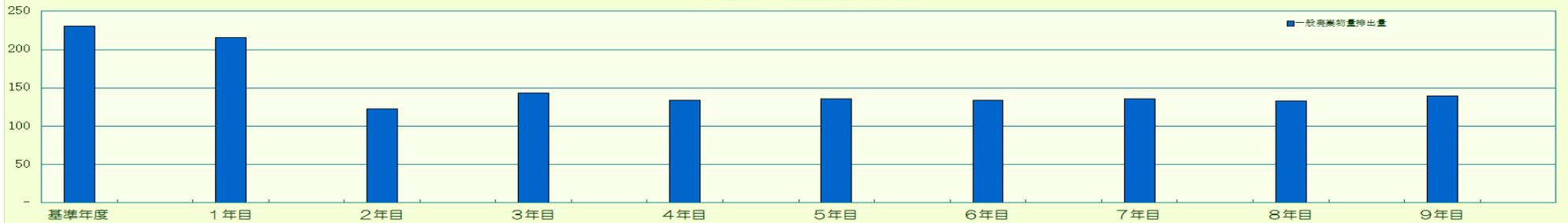
◇ 主な環境負荷の実績

※「1t-CO₂」で、25mプール(平均)約1杯分の体積

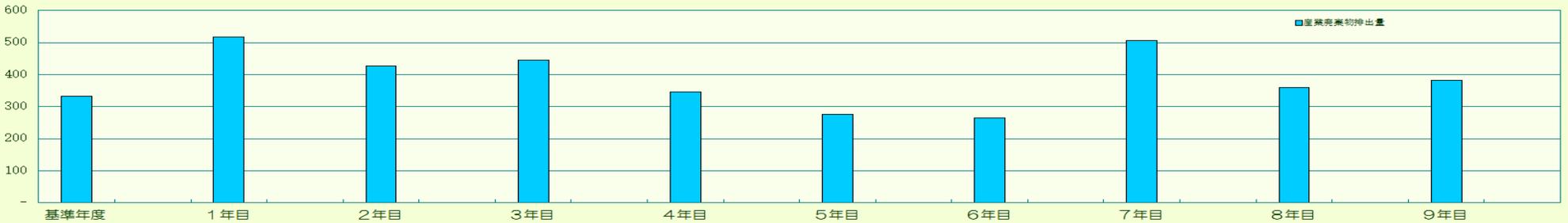
二酸化炭素排出量推移グラフ



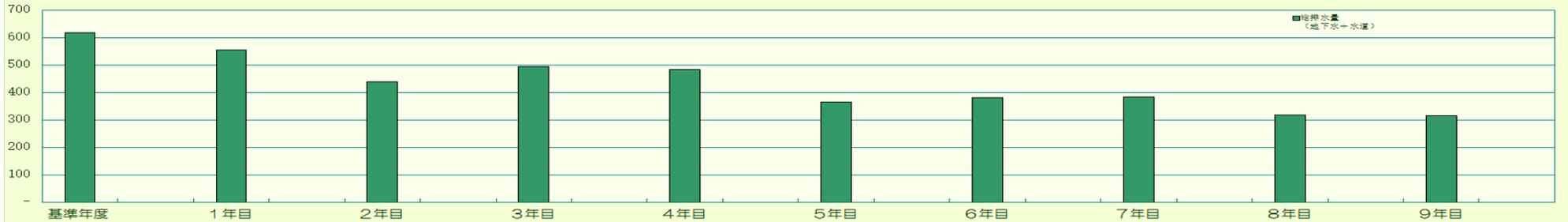
一般廃棄物排出量推移グラフ



産業廃棄物排出量推移グラフ



総排水量推移グラフ



◇ 環境目標及びその実績(全社)

上段：実績値
下段：対基準年度削減量(%)

◇環境目標及びその実績【全社】

年 度		2006年		2015年		2016年		2017年	
		基準年度		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)		
生産量		kg		4,919,457					
二酸化炭素排出量削減	電力削減(工場)	排出量(kg-CO2)	1,752,921	1,896,429	1,616,902	1,600,000	1,600,000		
	電力の生産高当りの削減※1	(kWh/ Kg)	0.943	0.886	0.846	0.830	0.900		
	リフト燃料の削減	(kg-CO2)	24,513	16,660	13,183	13,000	13,000		
	ボイラ燃料の削減	(kg-CO2)	1,780,516	1,727,100	1,619,620	1,609,586	1,609,586		
	電力削減(本社事務所)	(kg-CO2)	10,439	9,839	8,380	8,000	8,000		
	自動車燃料の削減	(kg-CO2)	15,014	8,258	4,255	4,200	4,200		
	二酸化炭素排出量合計	(kg-CO2)	3,583,403	3,557,500	3,262,340	3,234,786	3,234,786		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減(工場)	(kg/年)	231,150	139,770	139,530	139,000	139,000		
	産業廃棄物の削減(工場)	(kg/年)	307,350	300,000	383,570	300,000	300,000		
	一般廃棄物の削減(本社事務所)	(kg/年)	392.4	359.2	348.0	340.0	340.0		
	廃棄物排出量合計	(kg/年)	538,500	478,300	523,100	439,340	439,340		
節 水	放流水の削減※2(工場)	生産高当削減(m³/kg/年)	0.125	0.100	0.087	0.085	0.085		
		(m³/年)	616,221	381,731	315,769	315,000	315,000		
	水道水の削減(工場)	(m³/年)	3,267	2,200	2,902	2,200	2,200		
	水道水の削減(本社事務所)	(m³/年)	1,104	120	138	120	120		
	総排水量合計	(m³/年)	619,488	483,690	318,671	317,200	317,200		
環境に配慮した製品の販売促進	売上高(千円)	4,247	35,000	52,995	40,000	45,000			

※ 1、※ 2は生産高当りの評価で使用します。

電力排出係数=0.378 → 0.531(59期分から変更)

グリーン購入については、54期(2010年度)より取り組み中ですが、評価方法について策定中。

2016年の目標値は、2015年度実績より見直した値で、生産量を同等と想定したものです。

※ 東京営業所は電気・水道のメーターが無く把握出来ません(テナントの為)



◇ 環境活動の取組み計画と評価(工場)

◇環境活動の取組み計画と評価 【工場】			
取組み計画	達成状況	単位 基準年度比	評 価 (結果と今後の方向)
ボイラ燃料の削減 ガス使用量のデータ収集 蒸気漏れの保守点検・保温材装着 効率の良い抄紙機運転	2010 - 13平均値	1,780,515 Kg-CO2	目標達成 目標達成！保守活動が主になり、マンネリ化。マンホールからの漏れの改善を今後強めていきたい。
	目標	1,727,100	
	実績	1,619,620 97.00% 90.96%	
「電力」の生産高当たりの使用量削減 歩留向上 製造損紙率低減 加工ミス削減 電灯の数を減らす 不要電灯消灯 蛍光灯の変更 明かり窓の設置 冷暖房の控えめな使用(冷28℃暖20℃)	基準年度	1,752,921 Kg-CO2	目標達成 目標達成！ 漏電検知器やインバーターなどの導入により、改善出来た箇所も多いが、何よりトラブルが多かった。残暑に対するインフラ部分で無駄な使用も目立ち、今後の改善に活かしたい。
	目標	1,896,429 108.19%	
	実績	1,616,902 92.24%	
	基準年度	0.943 Kwh/Kg	
	目標	0.886 93.96%	
	実績	0.846 89.71%	
排水放流の生産高当たりの使用量削減 歩留向上 加工ミスの削減 各ポンプのバルブ操作による削減 雨水の再利用使用水量削減の改善提案募集	基準年度	616,221 m ³	目標達成 目標達成！ 生産量が減っているので必至だが、生産量に合った使用と排水設備を検討中。60期は更新する計画なので、併せてイニシャル&ランニングコストを意識した活動をしたい。
	目標	381,731 61.95%	
	実績	315,769 51.24%	
	基準年度	0.125 m ³ /kg/年	
	目標	0.100 80.00%	
	実績	0.087 69.60%	
リフト燃料の削減 電気リフトへの変更 急加速・急発進の防止 倉庫レイアウトの見直し・変更 通路の確保	基準年度	25,384 Kg-CO2	目標達成 目標達成！期の途中から加工課に電気リフト追加による軽油の削減も出来た。全体的にアイドルングや無駄な運転には意識を持ってもらい、エコな活動に努めたい。
	目標	16,660 65.63%	
	実績	13,183 51.93%	



◇ 環境活動の取組み計画と評価(工場)



<p>一般廃棄物の削減 弁当の割り箸をなくす 工程ロスの削減(歩留向上) ポリラミ損紙目方の現状把握 リサイクル先の開拓</p>	<p>基準年度 目標 実績</p>	<p>231,150 Kg 133,770 139,530</p>	<p>57.87% 60.36%</p>	<p>目標未達成 未達成！全体的に生産数量によるPE糸の処理が占めている。来期からはPE糸に関してのルールの見直しと今まで同様の一般廃棄物への分別などを徹底していく。又BSIによる不必要な物の廃棄も増え、今後改善したい。</p>
<p>産業廃棄物の削減 原料流出の防止 各ポンプ類の点検 分別回収 購入原料の見直し</p>	<p>基準年度 目標 実績</p>	<p>307,350 Kg 300,000 383,570</p>	<p>97.61% 124.80%</p>	<p>目標未達成 未達成！原料内不純物の増加、ポンプからの原料流れなども一因。またトラブルなども含まれる為、来期は今期実績を基に改善した活動による削減を目標にし、ゼロエミッション準備期間にしたい。再資源化を踏まえた処理法も併せて検討する。</p>
<p>節水(水道水) 節水の呼びかけ 風呂の利用方法の改善 雨水の利用</p>	<p>基準年度 目標 実績</p>	<p>3,267 m³ 2,200 2,902</p>	<p>67.34% 88.83%</p>	<p>目標未達成 未達成！水道管の各箇所での漏れやひび割れなどから発生したトラブルなどの対策や管理を強めたい。</p>
<p>グリーン調達の推進 その他 環境への負荷が少ない原材料の購入と、設備更新時の省エネ設備の設置。</p>	<p>基準年度 目標 実績</p>	<p>0 0</p>	<p>0.00% 0.00%</p>	<p>データベース収集中 森林認証パルプ、環境を配慮した薬品・染料の購入。 設備更新時に省エネ設備を設置。 環境対策に関する情報の入手。 エコ検定受験により、今期合格者なし。</p>
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減 :全体としては目標達成出来ており、CO2削減傾向にあるものの、抄造効率の改善と、省エネ意識がまだ低い。生産高当たりでの管理で、更なる意識向上とロス削減対策を委員会で協議・具体化する。 ・廃棄物の削減:全体にゴミ分別の意識が薄く量が減っていない。トラブルやポンプからの原料流れなども一因で、再資源化を踏まえた処理法も併せて検討する。 ・排水量の削減:排水処理の問題で循環使用率を上げており、生産高の影響と併せて排水量は減少傾向にあるが品質維持の点で限界がある。今後も積極的に工場排水の水質向上に向けての対策が必要。 <p>※今期より電力係数が変更 0.378 → 0.531</p>				

◇ 環境活動の取組み計画と評価(本社事務所・東京営業所)

◇ 環境活動の取組み計画と評価 【本社事務所】

取組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価(結果と今後の方向)
	基準年度	実績		
電力の削減 不在時消灯の徹底 冷暖房の控えめな使用 (冷28℃、暖20℃) 不在時のパソコン電源オフ	基準年度 目標 実績	10,439 9,839 8,380	Kg-CO2 94.25% 80.28%	目標達成 目標達成！1Fの工事の為、食堂が工場に移動。自販機も無くなりその辺りの数値が消えた事も関係しているが、今後研究開発室やミーティングでの使用が多くなるにつれ、対策は考えていきたい。
一般廃棄物の削減 ロス荷札ラベルの有効利用 缶・ビン・PETボトルの分別回収 事務所一般ゴミ分別回収の徹底	基準年度 目標 実績	392.4 353.2 348.0	Kg-CO2 90.01% 88.69%	目標達成 紙ごみの再資源化(分別回収)は徹底しているが、まだまだ廃棄が多い。来期は細分化する事により3Sの要素も入れ、構成していく。
水道水の削減 節水表示による意識向上	基準年度 目標 実績	1,104 120 138	m3 89.10% 88.90%	目標未達成 目標未達。 限界数値にきているとは思いますが、研究開発室のサンプル依頼が増え、使用量も増えている。来期は今期の実績を踏まえ見直したい。
環境配慮製品の販売促進 楠炭クレープ紙の拡販 循環型製紙の企画提案と営業強化	基準年度 目標 実績	4,247 35,000 52,956	千円 824.11% 1246.90%	目標達成 売上が順調に伸び、目標を大幅クリア。来期も引き続き販売計画を徹底して実行していき、売上確保を目指します。EA21としてはマーケティングにも共有し、データ入力等活動をしていきます。
自動車燃料の削減 アイドリングストップ 急加速、急停止の防止 不要な荷物は積まない 月当たりの走行距離調査 不要な荷物は積まない	基準年度 目標 実績	15,014 8,258 4,255	Kg-CO2 55.00% 28.34%	目標達成 燃費(=走行距離/ガソリン給油量)を考え、データ化していくようになり、営業車3台での活動にも、意識の向上が見受けられるが、目標に対して楽観出来ない結果なので、無駄を無くし、効率の良い運転の徹底と、公共機関の利用促進で削減を図る。
グリーン調達 他 グリーンマーク、エコマーク商品など、環境への負荷が少ない環境配慮型商品を購入する、及び環境配慮への取組みなど。	基準年度 目標 実績	0 0 0	0.00% 0.00%	データベース収集中 コピー用紙、ボールペン、マジック、のり、テープ、修正テープ、各種詰め替え用、紙ファイル、クリアファイル、リサイクルトナー、省エネ型家電購入など。

【総括】

- CO2削減 : 電力・水使用量はほぼ限界に近づきつつある。
営業車使用は営業担当者以外(3S関係・見学会など)も増えてきている為、無駄は無くす。
燃費換算では前期とほぼ同等水準を維持したが、更なる燃費向上に努める。
- 廃棄物の削減: 紙ごみの再資源化(分別回収)が徹底してきた。開発との兼ね合いもあり、細分化等も活動に盛り込む。
- 排水量の削減: 「節水」表示による意識付かと、まとめ洗いにより今後も無駄な使用を控える。
- 環境商品の販売促進: 目標を大幅に達成。炭再生紙の拡販でノベルティ用の大口受注が決まりました。
循環型製紙目標設定の見直しと循環型製紙も含めた企画提案を更に進める。

※今期より電力係数が変更 0.378 → 0.531



※東京営業所は今期から新しく活動に参加しましたが、まだまだデータ取りとEA21としての活動を模索中です。次期より活動の見える化をやっていききたいと思います。

◇ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制

適用される施設等

廃棄物処理法

一般廃棄物、産業廃棄物

騒音・振動規制法

抄紙機、印刷機、空気圧縮機、スリッター

水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置

抄紙機、排水処理設備

公害防止組織法

排水処理設備

大阪府生活環境条例(大阪府地下水汲み上げ制限)

製紙用水

消防法

原料置き場、少量危険物貯蔵所

フロン排出抑制法

スポットクーラー、空調機

毒物劇物取締法

抄紙用薬品類

遵守評価の結果、遵守されています。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。
工場立地法の届出を随時予定しています。(緑化面積の問題)

◇ 総括～代表者による全体評価と見直しの結果～

第59期の環境活動への取り組みは電力、燃料による二酸化炭素の削減については継続して目標をクリアできた。

また、前年度未達成であった放流水の削減は不断の努力で大幅な削減ができた。

いよいよ60期には排水処理設備の更新が実施されるので、ランニングコストの削減の為にも一層の削減が求められる。

全社で知恵を絞って削減に注力願いたい。

また、全社員によるエコ活動も「社内エコポイント」の導入を機に活性化され、廃棄物の削減や電力の低減に効果が表れている。

そして、60期から委員会活動にゼロエミッションを目指した「ゼロエミ委員会」が発足したが、社外の模範企業の見学などを積極的に行って廃棄物ゼロを目指して努力してもらいたい。

また、昨年度は念願のBCPが策定されたが、継続的な訓練と見直しが必要である。年間計画を事前に策定して、万全を期してもらいたい。また、エコ検定、CSR検定に関しては当社の新しい事業の推進の為には必須の課題である。

日頃の努力を怠らず、全社員合格を目指し頑張ってもらいたい。

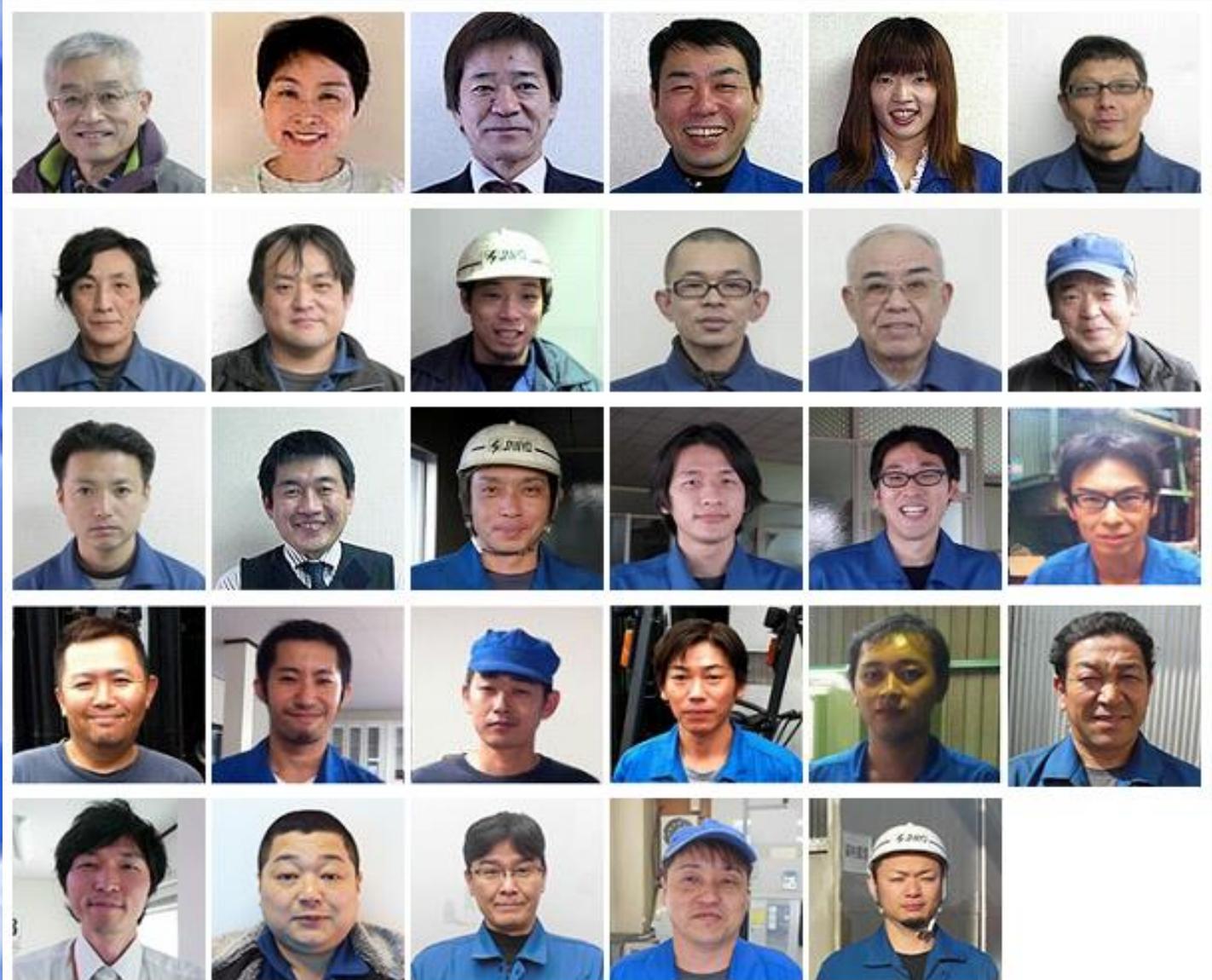
山陽製紙株式会社 代表取締役

原田六次郎

環境活動の紹介

eco(エコ)検定

エコピープルがつくる
エコな紙。
エコ検定合格者、
2017年1月現在 32名。
今年は3名の仲間が
増えました。



環境活動の紹介

CSR検定

エコピープルから
CSR検定合格者へ。
我が社のサステナビリティ
の取組みの為に、
全員合格を目指します。
2017年1月現在 17名。



これからも「エコ検定・CSR検定」の全社員合格を目指します！

環境活動の紹介

アドプトリバー 男里川

地元河川を毎月清掃し、
ゴミが無い綺麗で、魚や
鳥の住みやすい環境を
創る為に、地域の皆様
と協力して、
毎月第2日曜日、朝8時
から活動しています。
場所は男里川、弊社は
その川沿いにあります。



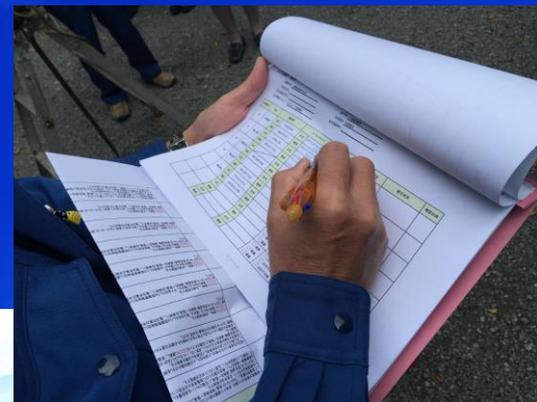
環境活動の紹介

BCP訓練

-もし未曾有の災害が起これば-

昨年初めて導入したBCP訓練では災害(津波・地震)が起きた際の、その後の経営も含めた対策と避難を実際出来るかどうかの訓練を実施しました。

初期初動では改めて必要なモノや道具、避難経路に関して協議もし、年に1回でも継続した訓練を実施していく事を決めました。



これからも定期的な訓練・体験実習を計画し、活動していきます！

環境活動の紹介

火災防止訓練

毎年1回、数時間ではありますが、地元の消防署に協力を要請し、火災防止の為の訓練を実施しています。

普段出来ない消火ポンプの操作や、実際に消火器（中は水）を使って火を消す練習など、緊急事態に備え、活動しています。



これからも定期的な訓練・体験実習を計画し、活動していきます！

環境活動の紹介

リサイクル活動 (EA21・ゼロエミッション)



アルミ・スチール・ペットボトル・キャップに
分別し、資源回収を行っています。
キャップは2年前から回収を始め、
現段階で、6700個リサイクル業者に提供。



紙資源の回収は、社員宅の物も含め、
定期的に分別回収を行い、製品原料と
して使用中。
段ボール・雑誌・新聞紙・コピー用紙など。

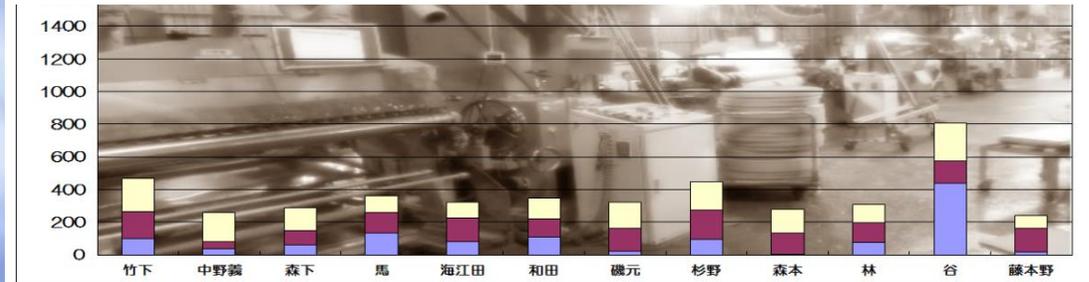
弊社独自のエコポイント制を導入し、全社員による環境改善を推進します。

環境活動の紹介

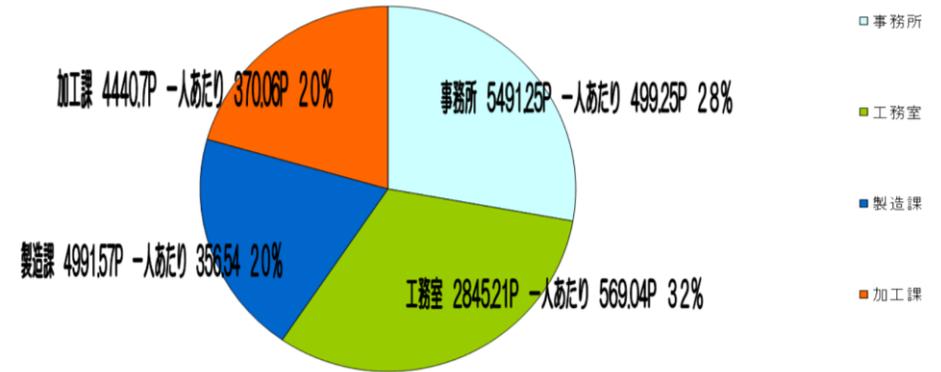
リサイクル活動(EA21・ゼロエミッション)

各部署累計表

2017/1/12 9:03	カテゴリー	エコイベント名	発行者	発行P	事務所	工務室	製造課	加工課	まとめ	内容詳細	評価
回収	1ヶ月	アルミ缶	1	249	495	808	445	1997	現金化による、社内緑化活動にて還元	自己	
		スチール缶	1	11	226	422	1043	1702			
		ペットボトル	1	157	81	862	444	1544			
		ペットボトルキャップ	0.5	36.5	40.5	246.5	215.5	539			
		椅子缶	-1.5	0	0	0	0	0			
	1ヶ月	段ボール	5	419.2	683.4	166.05	132.5	1401.15	社内リサイクル資源として活用		
		新聞紙	5	287	404.75	245	218	1154.75			
		白紙	5	0	0	0	0	0			
		雑紙	1	17.1	95.56	12.07	71.2	195.93			
		通学誌	1	0	4	9.95	0	13.95			
		書き損じハガキ	10	0	0	0	280	260			
		古書	5	0	40	10	34	84			
通勤手段	1ヶ月	歩行通勤		960	0	0	217.5	1177.5	申請		
		自転車通勤		2000	15	1695	620	4330			
		エコドライブ(ハイパー)	20	60	180	200	260	700			
		EVDドライブ	30	0	90	0	120	210			
環境改善	1ヶ月	環境改善案	5	1000	0	0	40	1040	EA21 又は ゼロエミ 検討		
		エコポイント券	5	0	0	0	0	0			
		環境改善実施		0	0	0	0	0			
		男里川掃除	15	165	105	255	195	720			
		地域風習掃除	5	0	295	0	5	300			
		他の活動	10	130	90	60	120	400			
		ボランティア		0	0	0	0	0			
合計			5491.8	2845.21	4991.57	4440.7	17769.28				
1人あたり			499.25	569.04	356.54	370.06	413.24				
			@11人	@5人	@14人	@12人	全社員43人				



部署別エコポイント活動(部署合計+1人あたり)の割合



エコイベント名	発行ポイント	利用目的
アルミ缶回収		現金化による、社内緑化活動にて還元
スチール缶回収	1缶=1ポイント	
ペットボトル回収		
ペットボトルキャップ回収	1個=0.5ポイント	エコキャップ推進協会加盟(推奨)のリサイクル業者への提供
ガラス瓶などの廃棄	1缶=-1.5ポイント	廃棄物増加の原因なので、推奨しません。
段ボール回収	1kg=5ポイント	社内リサイクル資源として活用 (原料パルパー横のバレティープに計量し、分別の事。)
新聞紙回収	1kg=5ポイント	
白紙回収	1kg=5ポイント	
その他雑紙回収	1kg=1ポイント	
書き損じハガキ回収	1枚=10ポイント	※書き損じハガキは工務室「専用回収箱」に入れて下さい。
古書回収	1kg=5ポイント	社内ウエス、社内バザー(交換)、海外提供

弊社独自のエコポイント制を導入し、全社員による環境改善を推進します。

環境活動の紹介

3S活動

3S活動とは。
「整理・整頓・清掃」を仕事の一環として、
安全性・効率性を考え、
会社全体の環境改善に取り組む活動です。

汚れる頻度の多い場所の仕組みを変え、
汚れない環境にしたり、
数工程ある仕事の流れを
短縮出来るように改善したり、
危険な場所があれば、
修繕や補強・看板設置などにより
安全な環境を確保する活動です。

毎年関西では、3Sサミットというイベントが
開催され、弊社は毎年参加しております。

3Sは全社員で共有する活動として、
これからも継続していきます。

～3S改善報告書より～

原料部

薬品置場上の屋根の改善

滑りやすい階段の改善

加工P

工場階段

階段の改善①

完了。不要な冷蔵庫（その上に軍手や物を置く）撤去。使用されていなかったロッカーをこちらに増設。個人ロッカー表示、長靴置場新設・表示、ヘルメット掛けも新設。継続して綺麗な状態を維持出来るようにお願いします。

～3S改善活動～

Workers performing various 3S activities: cleaning, organizing, and safety improvements in a factory setting.

環境活動の紹介

出前授業(ドリカム)

出前授業(ドリカム)とは。
若い人財が自己実現の為の向上に目標を定め
未来に向けて発信する活動。

今期が第1回目となり20代中心のメンバー6名が
地元泉南市の小学生の皆様と、社会と仕事に
ついて同じ目線で共有出来るように、学び合う
といった講習を初めて取り入れました。

小学生のみんなが仕事や大人に対してどんな想
いがあるのかを、話し合いながら弊社の商品群
の開発に携わって頂きました。

ユーモアな商品開発発表もあり、6ヶ月近く一緒
に活動したみんなは感動の終焉を迎えました。

来期も新しいメンバーで活動していきます。



クレープ紙製品の紹介

・製袋用

創業以来80年、セメント袋・米袋の口縫い部分の紙として使用され、日本のトップシェア。

・包装用

弊社独自技術(糸入り一次クレープ紙)の開発により、ステンレス/鉄/電線の梱包・防錆資材として使用され日本のトップシェア。

・層間紙

電子部品(リードフレーム、コネクタ)関連の合紙として一般クラフト、中性クラフト無塵紙などが活躍。

・ラッピング

花用(鉢・花束)ラッピングペーパーとして販売メーカーのオリジナル商品・手提げバックなどを製造。



※クレープとは、弊社独自の技術により紙にシワを付け、強度と伸びを付加したものです。

循環型製品の紹介

KAMIDECO (カミデコ)
&
SUMIDECO (スミデコ)



SUMIDECO – スミデコ (梅炭紙) 環境に配慮したロハスな紙

<http://www.sanyo-paper.co.jp/sumideco/>

和歌山県みなべ町で収穫された梅の種(廃棄物)を炭化し、粉に粉碎、「パルプ・炭・水」で製造した、地球に優しい100%リサイクルした紙です。

「ロハス」とは、Lifestyles Of Health And Sustainabilityという意味です。『健康や環境問題に関心の高い人々のライフスタイル』という意味です。「安価」「効率化」という従来型の選択基準とは異なり、「それは自分や他人のカラダに悪い影響を与えないものか?」「それは地球環境にとってマイナスにならないものか?」を前提に、消費や行動を選択していくライフスタイルです。この紙は、そんなロハス的な発想のもと創られております。

特徴としまして、弊社抄き込み技術は、製造時に炭の歩留まりがよく、機能性を損わずに紙と混ざる事で、製品となった紙は、消臭・環境ホルモン吸着・調湿等の効果があります。



循環型製品の紹介

KAMIDECO (カミデコ)
&
SUMIDECO (スミデコ)

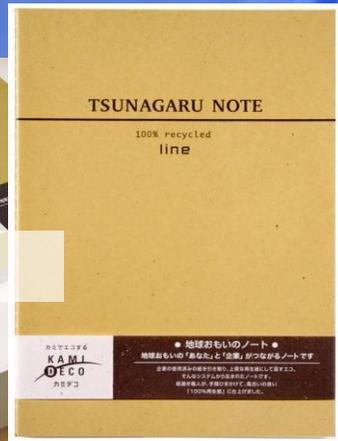


KAMIDECO - カミデコ -
紙ごみを資源に変える100%再生紙サービス

<http://kamideco-web.jp/>



ノートや名刺、封筒など



KAMIDECOの仕組み

企業で不要になったコピー紙を回収し、100%再生紙を作り、紙製品にして回収元の企業様や一般のお客様に提供いたします。



100%再生紙ができるまで

オフィス古紙を紙漉き職人が環境に配慮しながら手間暇かけて、素朴で風合いの良い上質な100%再生紙に仕上げています。



環境トピックの紹介

グッドライフアワード・ILS ベストバイヤーズチョイス・企業人づくり大賞優秀賞

第1回Good Life AWARD(グッドライフアワード)にて
審査委員長特別賞「環境と企業」特別賞を受賞いたしました。

又、ILS(インテリア ライフスタイル)2017ではベストバイヤーズに選ばれました。
そして同時期に環境省の企業人づくり大賞の優秀賞も授与しました。

今後も山陽製紙はKAMIDECO(カミデコ)を始め、
「地球を想う人と企業のための つながるエコ100%再生紙サービス」を、
企業や皆様の身近な存在になるように事業を進めてまいります。



最後まで御覧頂きありがとうございました。



これからも「自然を守る活動」や
「地球環境負荷低減活動」に更なる向上心を持って、
全社員で積極的に取り組みます。

山陽製紙株式会社 2016